

令和7年度第1回埼玉県立図書館協議会 議事録

◇ 日 時

令和7年7月31日（木）午後2時00分から午後3時30分まで

◇ 場 所

さいたま共済会館 504会議室 さいたま市浦和区岸町7-5-14

◇ 出席者

（1）出席委員

伊藤あゆみ委員（オンライン）、本城千晶委員（オンライン）、阿部晴光委員、市川紅美委員、阪井栄見子委員、加藤美幸委員、五十嵐静江委員、植竹知子委員、新藤透委員、中田京子委員、中山浩二委員、橋本弥幸委員（オンライン）、山本達也委員

（2）図書館職員

【熊谷図書館】

小西康雄館長、川目晴久副館長、高野治子副館長、山縣睦子司書主幹、高橋潤一担当課長、合澤大志司書

【久喜図書館】

藤倉陽子館長、町田智副館長、関信子副館長

（3）教育局職員

【埼玉県教育局】

小谷野幸也教育総務部長、佐藤直樹教育総務部参事兼生涯学習推進課長

◇ 次第

- 1 開 会 [熊谷図書館副館長 川目晴久]
- 2 任命状交付
- 3 あいさつ 埼玉県教育局教育総務部長 小谷野幸也
- 4 委員紹介
- 5 会長・副会長選出
会長 阿部委員 副会長 新藤委員 がそれぞれ選出された。
- 6 会長・副会長あいさつ
- 7 事務局職員紹介
- 8 会議録署名委員の指名

会長が、市川委員及び中山委員を指名し、了承された。

※ 会議を公開することについての議決

会長が公開とする旨を発言し了承された。

また、本日の会議では傍聴者はいないことが確認された。

9 議事

(1) 埼玉県立図書館の概要について

事務局から、資料1「埼玉県立図書館の概要について」に基づき説明。

【質疑】

新藤副会長：資料の18ページのレファレンスサービスなんですけれども、所蔵調査っていうのはクイックレファレンスといって簡単なもので、通常あまりレファレンス件数に含めないの、この資料では事項調査のみをピックアップしているというのが大変素晴らしいかなと思います。

その上でこの令和3年度はレファレンス件数が多くて、その後、減少しているのですが、これはなぜなのでしょう。

高野副館長：推測になりますが、新型コロナウイルス感染防止対策を機に様々なものがデータ化され、インターネット上でオープンアクセスが可能になったということがあります。

スマホやインターネットを使って、とりあえずの情報に当たれるようになったというのが一つの要因ではないかと考えています。

ただし、説明のときにもお話をいただきましたが、信頼性の高い情報を求めていらっしゃる方は来館されています。受付件数自体は減ってはいますが、レファレンスの質・難易度というものは高くなっています。また、そのような回答を求める方も増えているところです。

新藤副会長：このレファレンスの分野別内訳ですが、例えばNDCではどこの分類が一番多いのでしょうか。いろいろなところでお伺いをしていますが私の予想では大体2類というのが、公共図書館で多いのかなと思うのですがどうでしょうか。

高野副館長：分類で統計をとっているものを今手持ちではないのですが、確かに歴史・地理に関することをお探しの方が多いかと思います。あとは埼玉県に関することは、当館でしか所蔵していない資料が数多くございますので、いわゆる埼玉の地域に関する質問がかなり多くなっています。

新藤副会長：やはりこの地域に関する質問というのは埼玉県立でしか対応できない

質問も多いかと思いますが、ぜひそちらの方にもっと力を入れていただけたらと思います。

(2) 埼玉県立図書館運営の重点目標（令和4～6年度）の令和6年度実績と評価及び最終評価について

事務局から、資料2「埼玉県立図書館運営の重点目標（令和4～6年度）の令和6年度実績と評価及び最終評価について」に基づき説明。

【質疑】

加藤委員：23頁の「デジタルライブラリーのアクセス件数」の目標値ですが、令和4年、令和5年、令和6年で目標がそれぞれ達成されているのに、目標値が同じ3万1630点になっていたり、あと2段目のデジタルライブラリーのアクセス件数の目標値が令和4年は1万3000件、令和5年から4万3000件と大幅に変わっています。他のページにもやはり達成していても目標が同じというものがありますが、前年度に達成したら増やすということではないんですね。

山縣司書主幹：「デジタルライブラリーのアクセス件数」については、目標値も実績値も大幅に上がっています。これは、令和5年にシステム更新があったことにより、令和4年度まではデジタルライブラリーのトップページのアクセス件数を目標値・実績値としていました。システム更新後、デジタルライブラリー資料詳細ページのアクセス件数を算出することができるようになったことにより、その方が利用実態に近いということで、令和4年度と令和5年度、令和5年度と令和6年度、この3つを単純に比較することができないものとなっております。

一方、「多様な資料の新規収蔵冊数」は、維持していくことが重要と考え、目標値を一定のものとしております。

加藤委員：収蔵冊数を維持するだけでも困難ということですか。

山縣司書主幹：はい。

加藤委員：新しい資料を前年度よりより多く収蔵するというのは、なかなか難しいので、目標値を一定にしているということですか。他の目標値でも一定のものがありますが、同じような理由ですか。

山縣司書主幹：その通りでございます。

阿部会長：新規収蔵冊数については予算との絡みもあり、難しいではないでしょ

うか。

(3) 埼玉県立図書館利用者アンケートについて

資料3「埼玉県立図書館利用者アンケートについて」に基づき説明

【質疑】

五十嵐委員：私もこのアンケートに答えた1人ですが、質問内容がどのようなものであったか覚えていません。ほかの協議会委員の方も御存じないと思いますので、どのような質問項目があるか具体的に説明をお願いします。

山縣司書主幹：来館者アンケートは県立図書館ウェブサイトの結果を掲載しています。具体的な質問項目を御紹介しますと、例えば「当館はどれくらいの頻度で利用されますか」、「あなたの年代を教えてください」、「あなたのお住まいはどちらですか」などの基本的な項目をお聞きしています。

また、「埼玉県立図書館の資料を利用したことがあるか」とお聞きした上で、利用したことがある場合は「調査研究や仕事に役立ったか」、「生活上課題の解決に役立ったか」、「趣味・娯楽で心が豊かになったか」など詳細にお聞きしています。

ほかにはレファレンスサービスの満足度、職員の対応についての満足度、分野別専門館、市町村立図書館との役割分担などの認知についてお聞きしています。

阿部会長：アンケートの内容は変更しないのでしょうか。

山縣委員：アンケート内容については毎年度検討をし、変更する場合があります。重点目標の評価指標として使用する質問項目については3年間重点目標が同じであることから変更しないこととしています。

中山委員：私はアンケートに答えたことがないのですが、来館者アンケートは紙で配布しているのでしょうか。

山縣司書主幹：紙をお配りしているんですが、紙に二次元コードを付けてあり、県の電子申請システムでも回答できるようになっています。来館時に時間がない方は帰宅してから電子申請システムで回答していただいているケースもあります。

また、配布場所にタブレット端末を御用意して、タブレットで回答することもできます。

中山委員：スマホとかタブレットで回答できるのは若い人にとっていいことだと思

います。

中山委員：一方、WEBアンケートですが、サンプル数が100件もっていないのはすごい少ないという印象を受けました。

私は県政サポーターに登録していますが、月に1回ぐらいWEBのアンケートに答えています。県政サポーターは約3000人の登録があり、アンケートの回答数が2000人を超えていると思います。県政サポーターのアンケートに載せるとかそういうことはできないのでしょうか。

山縣司書主幹：県政サポーターには県の各課所館から応募があり、数が限られるので、毎年度実施というのは難しいようです。

加藤委員：アンケートは毎年度同じような時期にやられているのかなとお聞きしたのですが。時期を変えてみると、例えば夏休みかけると利用者の層が違いますので違う結果が出てくるかもしれません。また、WEBアンケートのサンプル数が非常に少ないというのは、実施していることを知らないのではないのでしょうか。県立図書館のアンケートを幅広い人に知らせる必要があるので、県立図書館が実施しているイベントのちらしなどに二次元コードをつけて、回答できるようにするとか、イベントのたびに、PRしていくという方法もあるのではないのでしょうか。

また、市町村などと連携して二次元コードなどをホームページなどに置いてもらって、アンケートに回答できるようにするということも検討していいのではないのでしょうか。

あと電子申請システムでは初期画面が表示され、その時点で回答をやめてしまう方もいらっしゃると思います。図書館が独自にやるのであればGoogle Formなどで簡単にYesNoで答えられるようにした方が回答率が上がると思います。

あとアンケートの目的がサービス向上であれば、もっと質問を絞って実施すると回答率がぐっと上がるのではないのでしょうか。協議会ごとに委員会から意見をもらって、改善につなげていくと、もっと回答数も増えるし、周知もでき、図書館を知ってくださる人も増えるのかなと思います。

山縣司書主幹：貴重な多くの御意見をいただきました。ありがとうございます。参考にいたします。

新藤副会長：このアンケートの結果なんですけれども、これはホームページ上で全部閲覧できるのでしょうか。

山縣司書主幹：令和 6 年度までの分を今埼玉県立図書館のウェブサイトアップしています。

新藤副会長：図書館協議会でもこのアンケート結果について、委員の皆様の御意見をお聞きした方が良くと思いますので次回にその結果を参考資料として配布してください。

（４）その他 なし

10 閉 会

以上

令和7年度 第1回 埼玉県立図書館協議会 配布資料一覧

- 1 次第
- 2 協議会委員名簿
- 3 出席職員名簿
- 4 座席表
- 5 資料1 埼玉県立図書館の概要について
- 6 資料2 埼玉県立図書館運営の重点目標（令和4～6年度）の令和6年度実績と評価及び最終評価について
- 7 資料3 埼玉県立図書館利用者アンケートについて
- 8 追加資料 埼玉県立図書館運営の基本方針、重点目標及び重点取組（令和4～6年度）

令和7年度第1回埼玉県立図書館協議会次第

◇日 時 令和7年7月31日(木)14時00分から

◇場 所 さいたま共済会館 504会議室

1 開 会

2 任命状交付

3 あいさつ

4 委員紹介

5 会長・副会長選出

6 会長・副会長あいさつ

7 事務局職員紹介

8 会議録署名委員の指名

9 議 事

(1)埼玉県立図書館の概要について

(2)埼玉県立図書館運営の重点目標(令和4～6年度)の令和6年度実績と評価

及び最終評価について

(3)埼玉県立図書館利用者アンケートについて

(4)その他

10 閉 会

埼玉県立図書館協議会 委員名簿

選出分野	ふりがな 氏 名	現 職 名 等	出欠	備 考
学校教育 関係者	いとう あゆみ 伊 藤 あゆみ	久喜市立本町小学校長	Teams	
	ほんじょう ちあき 本 城 千 晶	県立北本高等学校長	Teams	
社会教育 関係者	あ べ はるみつ 阿 部 晴 光	さいたま市立中央図書館長	○	
	いちかわ く み 市 川 紅 美	(一社) 埼玉県文化団体連合会理事	○	
	さかい えみこ 阪 井 栄見子	埼玉県地域婦人会連合会会常任理事	○	
家庭教育 関係者	かとう みゆき 加 藤 美 幸	埼玉県家庭教育振興協議会理事	○	
学 識 経 験 者	いがらし しず え 五十嵐 静 江	元草加市立中央図書館副館長	○	
	うえたけ とも こ 植 竹 知 子	(株) ピーアイピー代表取締役	○	
	しんどう とおる 新 藤 透	國學院大學教授	○	
	なかた きょうこ 中 田 京 子	公募委員	○	
	なかやま こうじ 中 山 浩 二	公募委員	○	
	はしもと みさき 橋 本 弥 幸	(株) 埼玉新聞社社員	Teams	
	やまもと たつ や 山 本 達 也	元県立本庄特別支援学校長	○	

※敬称略。選出分野ごとに五十音順 令和7年7月1日現在

令和7年度第1回埼玉県立図書館協議会出席職員名簿

所 属	職 名	氏 名
埼玉県教育局	教育総務部長	こやの ゆきや 小谷野 幸也
埼玉県立熊谷図書館	館 長	こにし やすお 小西 康雄
	副 館 長	かわめ はるひさ 川目 晴久
	副 館 長	たかの はるこ 高野 治子
	司 書 主 幹	やまがた のぶこ 山縣 睦子
	担 当 課 長	たかはし じゅんいち 高橋 潤一
	司 書	あいざわ たいし 合澤 大志
埼玉県立久喜図書館	館 長	ふじくら ようこ 藤倉 陽子
	副 館 長	まちだ さとる 町田 智
	副 館 長	せき のぶこ 関 信子
埼玉県教育局教育総務部 生涯学習推進課	参事兼課長	さとう なおき 佐藤 直樹

令和7年度第1回埼玉県立図書館協議会座席表

令和7年7月31日（月）

14:00～

さいたま共済会館504会議室

会長		副会長		Teams	伊藤委員 本城委員 橋本委員										
阿部委員				植竹委員											
市川委員				新藤委員											
阪井委員				中田委員											
加藤委員				中山委員											
五十嵐委員				山本委員											
事務局															
川目 副館長	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高野 副館長</td> <td>小西館長</td> <td>小谷野部長</td> <td>佐藤参事</td> <td>藤倉館長</td> </tr> </table>										高野 副館長	小西館長	小谷野部長	佐藤参事	藤倉館長
高野 副館長	小西館長	小谷野部長	佐藤参事	藤倉館長											
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高橋 担当課長</td> <td>合澤 司書</td> <td>山縣 司書主幹</td> <td>関 副館長</td> <td>町田 副館長</td> </tr> </table>										高橋 担当課長	合澤 司書	山縣 司書主幹	関 副館長	町田 副館長
高橋 担当課長	合澤 司書	山縣 司書主幹	関 副館長	町田 副館長											
入 口															



埼玉県立図書館の概要

埼玉県立図書館

県立図書館2館体制

26
年度まで

浦和図書館

社会科学、産業
地域・行政資料

熊谷図書館

哲学、歴史
海外資料

久喜図書館

自然科学、技術、芸術
言語、文学、児童書

浦和図書館の廃止に伴い、3館体制から2館体制へ移行

再編後の体制

熊谷図書館

総記、哲学、歴史、社会科学、産業
外国語資料、地域・行政資料

浦和分室

県立文書館内に資料の受け渡し窓口を設置

外部書庫

(旧玉川工業高校)

久喜図書館

自然科学、技術、芸術
言語、文学、児童書

埼玉県立図書館

体制

熊谷図書館(熊谷市)
久喜図書館(久喜市)
浦和分室(さいたま市)
外部書庫(ときがわ町)

運営 2館で一体

分野別専門館
情報・物流ネットワーク

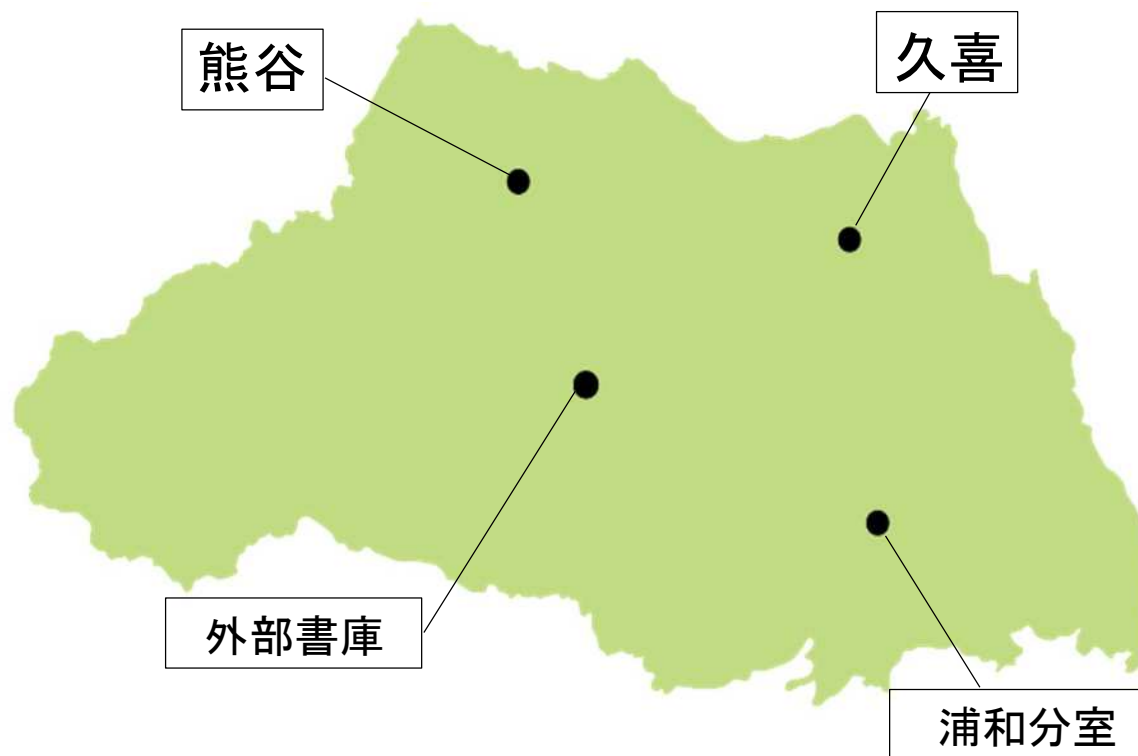
役割

調査研究活動支援
市町村支援

専任職員 94人
※うち司書 77人

埼玉県 県民733万人
63市町村

令和7年6月1日現在推計人口



分野別専門館・機能別分担の運営

社会科学と歴史・哲学の

熊谷図書館



- ビジネス支援サービス
- 地域・行政資料サービス
- 多文化サービス
- 視聴覚資料サービス
- 資料収集・整理
- 図書館協力

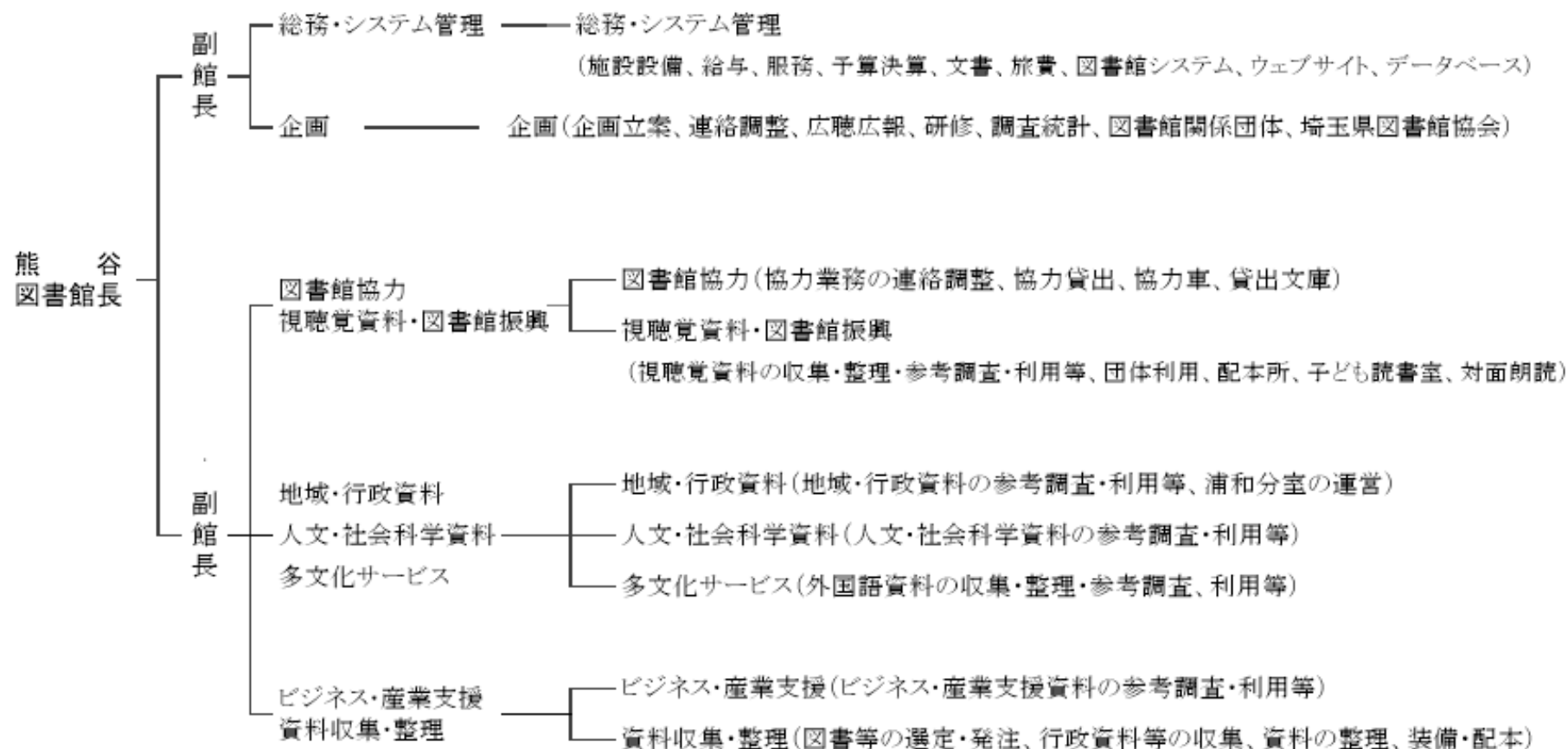
自然科学と芸術・文学の

久喜図書館



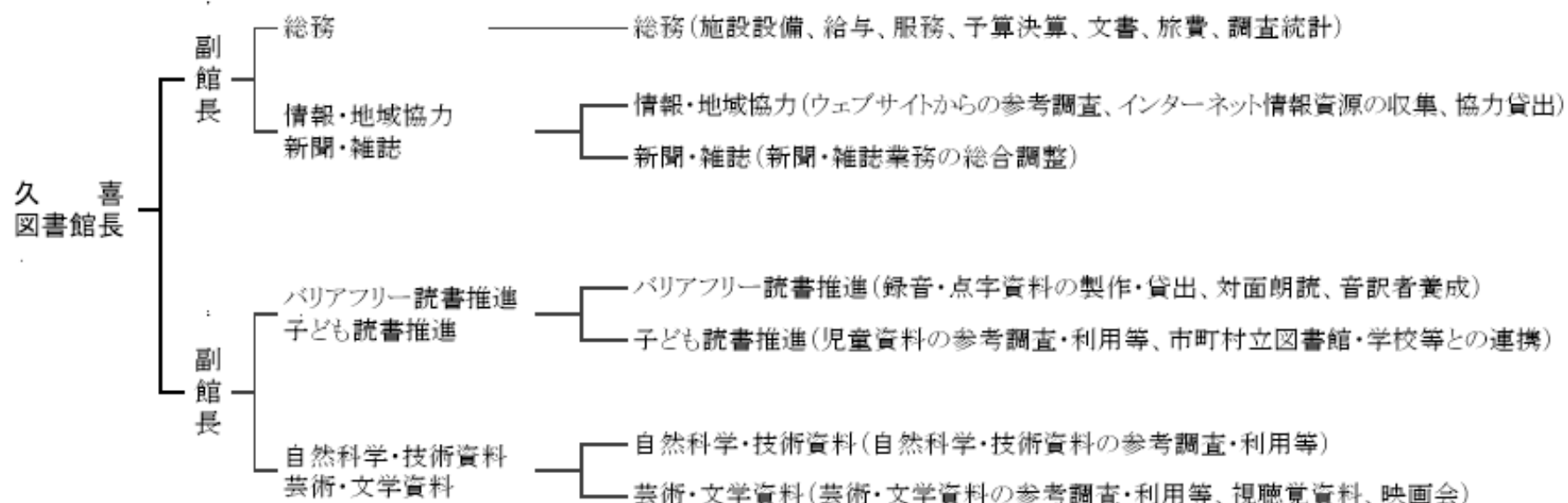
- 健康・医療情報サービス
- 子ども読書支援サービス
- バリアフリー読書
(障害者サービス)
- 新聞・雑誌サービス

熊谷図書館



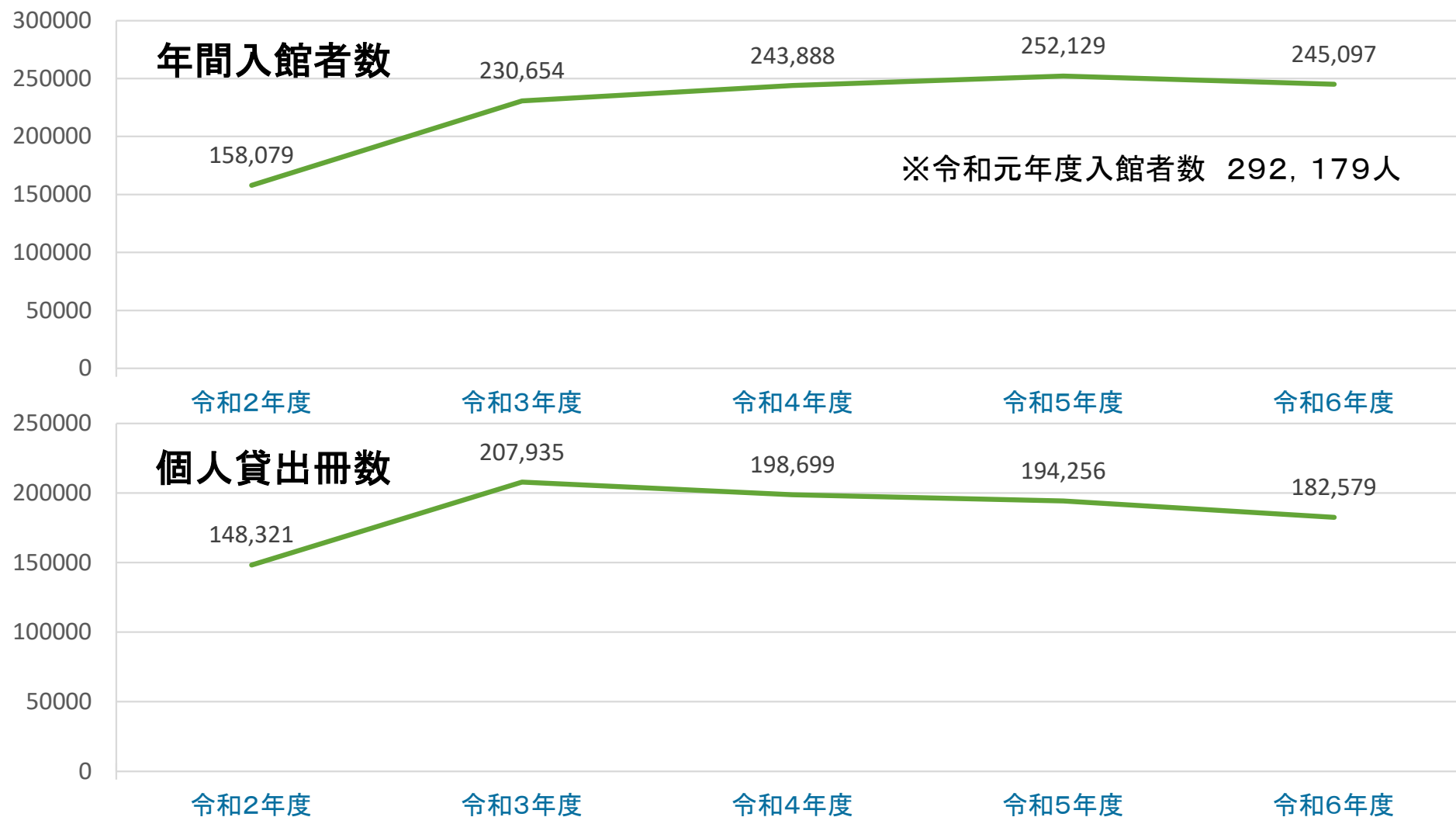
設立 昭和45年4月 (熊谷市) 職員 59人(うち司書有資格者48人) 令和7年度当初

久喜図書館



設立 昭和55年6月(久喜市) 職員 35人(うち司書有資格者29人)令和7年度当初

年間入館者数・個人貸出冊数



新型コロナによる休館 令和2年2月29日から5月31日 令和2年12月24日から令和3年3月21日

運営の基本方針

(令和7年4月改訂)

- 1 専門的な情報や埼玉の地域資料の拠点となる図書館
豊富な情報を提供するために、県内図書館全体の資料の充実につながる収集・保存を行う。
- 2 県民の学びのニーズに応える図書館
県民の課題解決を支援するため、質の高い調査相談、資料・情報提供の充実を図る。
- 3 県民誰もがサービスを享受できる図書館
来館しなくても、資料・情報にアクセスしやすい仕組みを構築する。
- 4 県民の交流・創造を育む図書館
交流機会の提供等によって、県民の価値創造を支援する。
- 5 県内図書館サービス全体の充実に貢献する図書館
県内各種図書館等と連携しながら、図書館サービスの充実を図る。

県立図書館の主な業務

- 1 資料の収集・整理：熊谷図書館で一括して購入・寄贈等対応
- 2 資料の保存対策：書庫等の保存環境整備・資料等の補修
- 3 レファレンスサービス：利用者等からの調査・相談対応
- 4 資料展・講演会：資料展・映画会・講座等の実施
- 5 横断検索システム：県立・市町村立・一部大学等の蔵書検索
- 6 協力車運行（搬送システム）：県立・市町村立間の相互貸借

1 資料の収集・整理

(1) 埼玉県立図書館資料収集方針

県立図書館は、生涯学習社会・情報化社会における県民の学習活動を支援する教育・文化機関としての役割を果たすために、以下の基本方針に基づき資料の収集を行う。

- (1) 県民の様々な学習ニーズや課題に対応し、県民がこれらを解決、調査するための**支援・参考調査機能の充実を目指して、レファレンス資料・情報の積極的な収集を図る。**
- (2) 県内市町村立図書館が行うサービスに対する補完・援助機能の強化を図るために、**より高度で専門的な資料・情報の収集に努める。**

「埼玉県立図書館収集方針」 1 基本方針 から抜粋

1 資料の収集・整理

(2)所蔵資料の概況

◆図書 約159万冊

うち 地域資料28万冊、児童書20万冊、貸出文庫等 15万冊

◆逐次刊行物 新聞 167紙 雑誌 2,711誌

◆マイクロフィルム 約14,803点

◆視聴覚資料 CD・DVD 26,977点 16ミリ映画 4,503点

◆障害者サービス用資料

点字資料 2,129タイトル 録音資料 3,679タイトル

◆オンライン資料 1,812タイトル公開

◆デジタル化資料 1,292タイトル公開

(埼玉資料の貴重書、絵図、明治時代の新聞・雑誌、古写真等)

※令和7年3月31日現在

1 資料の収集・整理

(3)所蔵資料の比較

「埼玉の公立図書館」 埼玉県図書館協会

	一般図書	児童図書	郷土資料	計	資料費(千円)
県立図書館	1,128,910	206,095	269,933	1,604,938	61,657
さいたま市	2,306,890	1,104,353	163,334	3,574,577	163,124
川越市	574,966	230,000	29,815	834,781	25,573
越谷市	460,946	191,832	24,506	677,284	62,702
川口市	997,790	307,325	42,800	1,347,915	115,900

※資料は令和6年3月31日現在 資料費は令和4年度決算

【参考】「日本の図書館」2024年調査 速報値 都道府県立図書館の統計 日本図書館協会

	1	2	3	4	
蔵書冊数	大阪府 2,934,228	東京都 2,832,075	岡山県 1,623,783	埼玉県 1,604,938	
うち児童	大阪府 326,744	滋賀県 273,528	宮城県 227,784	東京都 223,902	⑧埼玉県 206,095
資料費(千円)	東京都 341,067	千葉県 108,116	高知県 107,052	鳥取県 101,856	⑮埼玉県 61,791

2 資料の保存対策

県民の財産である資料を、将来に渡って利用できるよう、資料保存に取り組んでいます。

劣化の原因

	原因	予防対策
保存環境	温度・湿度・紫外線・ホコリ・虫・カビ・災害	空調・環境測定・調湿紙・こまめな消灯・紫外線防止蛍光灯・ブラインド・紫外線防止フィルム・清掃・点検・防虫剤・害虫駆除・災害対策マニュアル
内的な要因	酸性紙・紙の寿命・針金綴じ・構造上の問題(無線綴じ・横目・大きさ)	脱酸(少量・大量)・中性紙の利用・綴じ直し(糸・ステンレス針)
外的な要因	製本・複写・棚からの出し入れ・頻繁な移動 ・乱暴な利用等取扱い ・不適切な修理	複写機の改善・複写の制限・書架整理 ・利用者・職員への教育

修理の原則

- 資料の原形(オリジナル)を尊重
- 安全な材料を使う
- 可逆性(元に戻せる修理)
- 本の構造を理解し、機能の回復を目指します。
- 修理は本に負担がかかる行為です。利用のための必要最小限の修理を心がけます。
- 固く、強固に治す必要はありません。軟らかく仕上げるのが長持ちの秘訣です。
- 利用するかぎり、何度も壊れる可能性があります。やり直しができる修理を行います。
- 誤った修理は、次の破損につながります。常に次に修理する時のことを考えて修理方法を選択

やさしく扱ってください

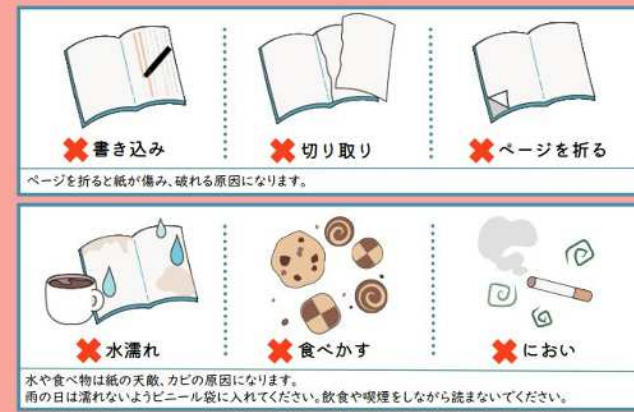
～図書館資料の取扱いについて～

県立図書館の資料(本、雑誌、CD/DVDなど)は、県民の財産として永く保存していきます。

お借りになっている間は、借りた方に管理責任が生じます。丁寧に扱ってください。
返却された資料が汚れたり傷んだりしていた場合、弁償をお願いすることがあります。

以下のような取扱いはしないでください。

●本・雑誌

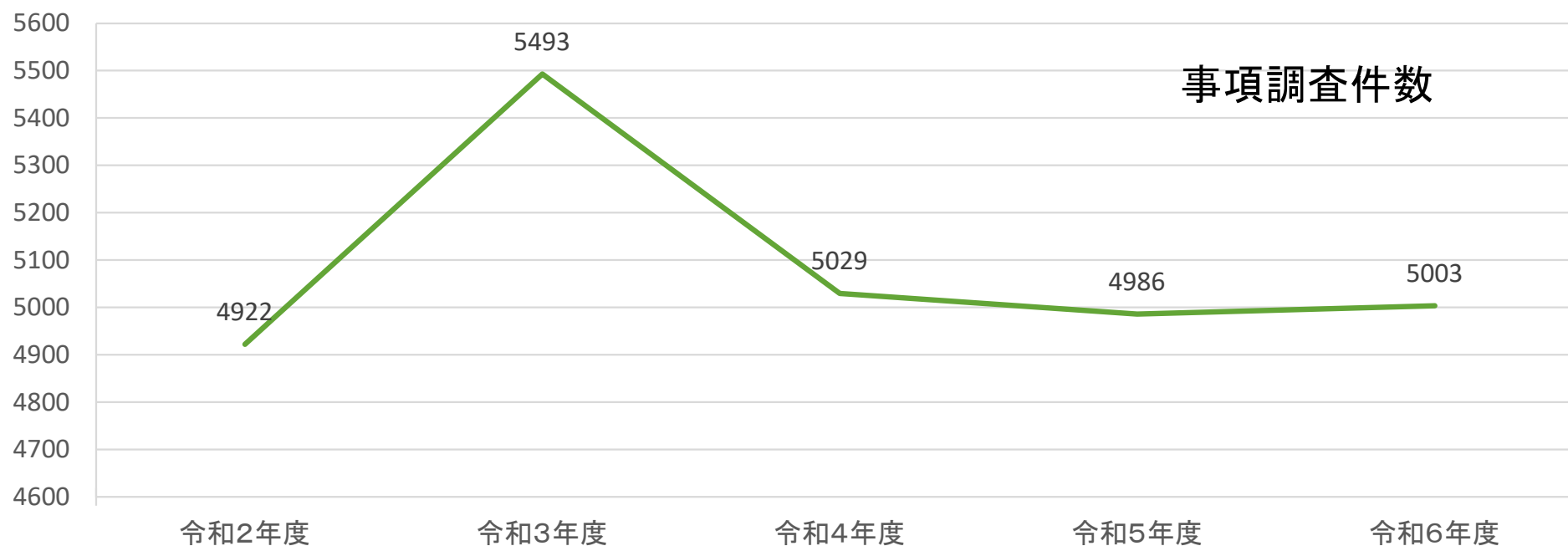


3 レファレンスサービス

調査・相談(レファレンス)サービスとは

図書館の資料を使って、資料や情報を探すお手伝いをするサービスです。

埼玉県立図書館では、蔵書の有無などのすぐお答えできるご質問(所蔵調査)から、広くて深いリサーチを必要とするご質問(事項調査)まで、各図書館に設置した専用カウンターで承っており、図書館の資料やインターネットで得た情報を提供しています。



4 資料展・講演会

熊谷図書館

資料展「物語に寄り添うクラシック音楽」「本で訪れるベトナムの世界」ほか
16ミリ映写機技術講習会・女性のための起業入門セミナー&プチ交流会 など

久喜図書館

資料展「ようこそ！海のせかいへ」「書くから打つへ～心をつたえる～」ほか
新規音訳者養成講座・おはなしボランティア指導者研修会・健康・医療情報講演会など



女性のための起業入門セミナー



5 横断検索システム

埼玉県内の公共図書館等の蔵書を、一度に検索することができます
県内10大学について所蔵情報の検索ができます(利用を希望する場合は大学に問い合わせさせていただきます)

**埼玉県内図書館横断検索**
埼玉県内の図書館の本をさがす

詳細検索

はじめのうたが木へ 探究の道しるべ

ビジュアル図解日本資本主義の父渋沢栄一の生涯

渋沢栄一 近代日本の経済を築いた情熱の人 [伝記を読もう]

論語と算盤 現代語訳

著者名	出版者	出版年	ISBN	所蔵館
渋沢研究会/編	ミネルヴァ書房	2020	978-4-623-08841-6	45
渋沢栄一研究会/著	宝島社	2020	4-299-01010-8	21
芝田勝茂/文	あかね書房	2020	978-4-251-04621-5	36
渋沢栄一著 守屋淳訳	筑摩書房	2010	9784480065353	*

55館所蔵

埼玉県立図書館

熊谷市

本庄市

深谷市

神川町

寄居町

秩父市

横瀬町

小鹿野町

春日部市

草加市

越谷市

三郷市

吉川市

行田市

羽生市

久喜市

蓮田市

宮代町

杉戸町

朝霞市

志木市

和光市

新座市

富士見市

ふじみ野市

三芳町

川越市

東松山市

坂戸市

毛呂山町

越生町

嵐山町

小川町

所沢市

飯能市

狭山市

入間市

日高市

川口市

蕨市

戸田市

さいたま市

鴻巣市

上尾市

桶川市

北本市

総合教育センター

埼玉県立大学

所蔵情報の提供のみ

埼玉工業大学

埼玉東萌短期大学

聖学院大学

東都大学 (深谷キャンパス)

ものづくり大学

国際学院埼玉短期大学

6 協力車運行(搬送システム)

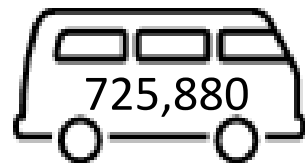
—埼玉県全体がひとつの大きな図書館—



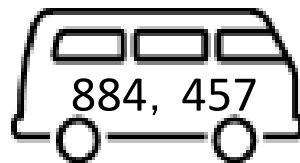
県立図書館、市町村立図書館、類縁機関図書室（8所）、
大学図書館（2館）の資料を**スマホ・PCで一括検索**

お近くの図書館に取り寄せ！

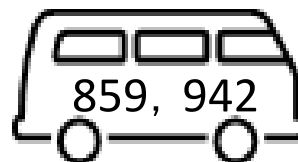
返却もお近くの図書館へ！



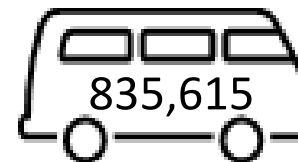
2年度



3年度



4年度



5年度



6年度

協力車(配送車)による搬送点数

[利用案内](#)

[資料案内](#)

[調査・相談
\(レファレンス\)](#)

[分野別ガイド](#)

[図書館について](#)

埼玉県立図書館の本・CD・その他資料を探す

検索

▶ [詳細検索](#) ▶ [Detailed search](#) ▶ [くわしく さがす](#)

埼玉県内の図書館の
本を探す

▶ [県内横断検索へ](#)

Myライブラリ

▶ [ログイン](#)

▶ [Myライブラリとは](#)

▶ [パスワードを忘れた方](#)

はじめて
利用される方へ



よくある質問



埼玉県立図書館の
WEBサービス



資料紹介
(新着資料)



WEB資料展示



イベント



[埼玉関係
データベース](#)

[デジタル
ライブラリー](#)

[ジャパンサーチ
\(埼玉県ページ\)](#)

[国立国会図書館
サーチ](#)

[データベース
座席予約](#)

[レファレンス
申し込み](#)

令和6年度 埼玉県立図書館【重点取組評価シート】

基本方針		専門的な資料・情報や地域資料等を収集、蓄積し、県民・企業の調査研究に対する支援機能を充実する。									
重点目標1		専門的な資料・情報や地域資料等の収集・保存の充実									
重点取組	1-1	多様な媒体の資料・情報の収集・保存									
	1-2	資料保存環境の改善									
	1-3	地域資料等のデジタル化の推進									
評 価	R4年度	A	3か年 最終評価	A	達成水準 評価	S・・・目標に達している A・・・目標の8割以上に達している B・・・目標の5割以上に達している C・・・目標の5割未満である D・・・成果・進捗がほとんど見られない					
	R5年度	A									
	R6年度	S									
数値目標 達成状況	多様な資料の新規収蔵冊数 (図書、視聴覚、雑誌、オンライン資料)				投入	目標値	R4年度	R5年度	R6年度		
					実績値	31,630点	31,630点	31,630点			
					達成率	34,214点	33,672点	33,507点			
	デジタルライブラリーのアクセス件数				活動	達成率	108%	107%	106%		
					評価	S	S	S			
					目標値	13,000件	43,000件	46,000件			
	県立図書館資料の満足度* (役に立つ度)				成果	実績値	10,625件	49,633件	78,101件		
					達成率	82%	115%	170%			
					評価	A	S	S			
	* 県立図書館資料の満足度：5段階評価（来館者アンケートより算出）				目標値	4.2以上	4.2以上	4.2以上			
					実績値	4.5	4.5	4.5			
					達成率	107%	107%	107%			
				評価	S	S	S				
困難な取組における進捗状況評価			重点取組1-2			A	A	S			
困難な取組における進捗状況（R6年度）											
資料保存環境の改善（重点取組1-2）として、大きく分けて3つの取組を実施した。1つ目は、収蔵スペース創出に向けた取組である。複数所蔵している資料の除籍による単冊化を進め、スペースの確保を行った。2つ目は、資料保存環境の整備である。外部書庫資料運用検討委員会において、外部書庫内の空きスペースの環境測定を実施し、除湿機を新たに導入した。また、特別整理期間を活用し、令和4年度及び5年度に創出した各館の空きスペースへ資料を移動した。3つ目は、資料保存に関する人材育成の取組である。資料保存の知識と技術を習得するための職員研修を実施し、基礎知識の習得だけではなく、より実践的な研修を修了した司書職員は約半数となった。さらに、埼玉県立文書館が開催した「文書資料取扱講習会」に職員を派遣した。						進捗状況評価					
						S・・・予定どおりの進捗が見られる					
						A・・・8割程度の進捗が見られる					
						B・・・5割程度の進捗が見られる					
						C・・・取組に着手している					
						D・・・取組に着手していない（要努力）					
										評価	
										S	
令和6年度総括											
上記1-2の取組のほか、多様な媒体の資料・情報の収集・保存（重点取組1-1）については、令和4年度から始め、5年度に対象を拡大した県内のデジタル行政資料の収集を継続し、様々なデジタル行政資料を公開することができた。地域資料等のデジタル化（重点取組1-3）の推進では、新たに233点のデジタル化資料を作成し、デジタルライブラリーで381点を公開した。 なお、デジタルライブラリーのアクセス件数の目標値は、指標策定時はトップページ等のアクセス件数を指標として計上していたが、図書館システムの更新により、資料詳細ページのアクセス件数を正確に算出することが可能になった。そのため、令和5年度以降の目標値は修正されている。											
3か年（R4～R6年度）の総括											
重点目標1-1では、図書、視聴覚資料、雑誌及び県内自治体発行のデジタル資料を安定的に収集し、目標を上回る成果をあげることができた。この成果は、数値目標「多様な資料の新規収蔵冊数」の達成にも繋がった。重点目標1-2では、スペースの創出、収蔵環境の整備、職員の補修技術向上に取り組み、改善を進めることができた。重点目標1-3では、オーバーヘッドスキャナを活用した資料のデジタル化と公開を進めた結果、目標を上回る成果を達成した。 資料の長期保存のための環境整備は依然として重要である。また、デジタル資料を含めた蔵書の充実も、図書館にとって常に課題となっている。次期計画においても、安定的な活動とさらなる蔵書の充実を目指した取組が必要となる。											

令和6年度 埼玉県立図書館【重点取組評価シート】

基本方針		ICTの高度化に対応した図書館サービスを推進する。							
重点目標2		ICTを活用した図書館サービス提供の推進							
重点取組	2-1	「デジタル地域資料アーカイブ」の検討							
	2-2	カウンターワークのデジタル化の推進							
	2-3	ICTによる非来館型レファレンスの充実							
	2-4	複写物の電子送信サービスの実施							
評価	R4年度	A	3か年 最終評価	A	達成水準 評価	S・・・目標に達している A・・・目標の8割以上に達している B・・・目標の5割以上に達している C・・・目標の5割未満である D・・・成果・進捗がほとんど見られない			
	R5年度	A							
	R6年度	A							
数値目標 達成状況	カウンターワークのデジタル化 取組件数				投入	目標値	R4年度	R5年度	R6年度
						実績値	3件	4件	5件
						達成率	100%	125%	120%
						評価	S	S	S
	ICTによる非来館型レファレンス 受付件数				活動	目標値	290件	300件	310件
						実績値	327件	287件	228件
						達成率	113%	96%	74%
						評価	S	A	B
	ICTによる非来館型レファレンス サービス利用のしやすさ満足度*				成果	目標値	4.5以上	4.5以上	4.5以上
						実績値	3.6	4.0	3.9
達成率						80%	89%	87%	
評価						A	A	A	
* ウェブアンケート等より算出									
困難な取組における進捗状況評価			重点取組2-1、2-2、2-4			S	A	A	
困難な取組における進捗状況（R6年度）									
重点取組2-2では、ウェブサイトへの誘導や動画案内など、カウンター業務の効率化と利用者の利便性向上につながる取組を継続的に強化した。 重点取組2-3では、図書館ウェブサイトのトップページからレファレンスページへの導線を改善し、申込フォームに案内を追加することで、利用しやすさを向上させた。また、県内図書館向けのレファレンス申込用掲示板を、よりアクセスしやすい図書館協力ウェブサイトに移設した。 さらに、各種会議やイベントで非来館型レファレンスの利用方法などを説明したり、XやLINEなどのツールを活用した広報活動を行うなど、積極的に情報発信を行った。調査・相談サービスのチラシも改訂した。 重点取組2-4では、補償金支払手続等を調整し、3月に特定図書館の登録を申請した。						進捗状況評価			
						S・・・予定どおりの進捗が見られる A・・・8割程度の進捗が見られる B・・・5割程度の進捗が見られる C・・・取組に着手している D・・・取組に着手していない（要努力）			
						評価 A			
令和6年度総括									
数値目標の非来館型レファレンス受付件数については、県民向け及び県内図書館向け双方で受付方法の普及が十分ではなかった。重点取組2-2、2-3を実施したものの、効果が数字に現れていない。県民向けのレファレンスフォームでは、2月以降、受付件数が昨年度比で上回っており、引き続き使いやすさの改善や、レファレンスサービス全体の周知強化に取り組んでいく。 複写物の電子送信サービスの実施（重点取組2-4）では、補償金支払いの仕組みは整いつつあるが、実施には至らなかった。特定図書館登録が完了次第、速やかにサービスを開始する予定である。									
3か年（R4～R6年度）の総括									
重点取組2-1は、令和5年度のシステム更新時にサブシステムとして導入することができなかったが、ジャパンサーチ上の「埼玉県」ページ（重点取組3-3）の充実へ注力することとした。重点取組2-2では、利用者登録、郵送複写及び座席予約の申込み手順のオンライン化などが実現した。重点取組2-3では、チャット型レファレンス受付ツールの導入検証を実施した。今後、新県立図書館の整備の方向性を見据えながら、利用者のニーズに合ったレファレンスサービスを整備するための参考にする。重点取組2-4では、サービスの実施に必要な規程・規約類の整備及び機器の設置、職員研修、特定図書館の登録申請を行った。ICTを活用した図書館のデジタル化は進展しているが、更なる改善とサービスの周知が課題である。									
埼玉県立図書館協議会（サービス評価小委員会）によるコメント									
非来館型レファレンスについては、利用者からのニーズを探り、ノウハウを蓄積しながら、広報の仕方を工夫して周知を進めていってほしい。技術的な進展（生成AI等）を視野に入れながら新しいレファレンスの方法を検討してほしい。									

令和6年度 埼玉県立図書館【重点取組評価シート】

基本方針		県民の課題解決を支援するため、調査相談など資料・情報の提供の充実を図る。							
重点目標3		資料・情報提供機能の強化・推進							
重点取組	3-1	情報提供ツールの作成							
	3-2	レファレンス協同データベースへのデータ提供							
	3-3	「埼玉サーチ」の拡充・展開 * ジャパンサーチ上の「埼玉県」のページ							
	3-4	電子書籍導入方法の検討							
評 価	R4年度	A	3か年 最終評価	A	達成水準 評価	S・・・目標に達している A・・・目標の8割以上に達している B・・・目標の5割以上に達している C・・・目標の5割未満である D・・・成果・進捗がほとんど見られない			
	R5年度	A							
	R6年度	A							
数値目標 達成状況	レファレンス協同データベース 事例公開件数 投入					R4年度	R5年度	R6年度	
						目標値	210件	210件	210件
						実績値	207件	212件	221件
						達成率	99%	101%	105%
	情報提供ツールの活用件数 * 活動 *ビジネス支援及び健康医療情報のリサーチガイドのダウンロード件数					目標値	430件	430件	430件
						実績値	381件	376件	493件
						達成率	89%	87%	115%
						評価	A	A	S
	「埼玉サーチ」満足度 * 成果 *「埼玉サーチ」満足度：5段階評価（ウェブアンケート及び関連講座参加者アンケートにより算出）					目標値	4.0以上	4.0以上	4.0以上
						実績値	4.1	4.2	3.3
						達成率	103%	105%	83%
						評価	S	S	A
	困難な取組における進捗状況評価			重点取組3-1、3-3、3-4			A	A	A
困難な取組における進捗状況（R6年度）									
重点取組3-1では、パスファインダー8点、展示資料リスト15点、高校生向けの外国語資料・多文化理解のためのテーマ別ブックリストを新たに作成した。また、ダウンロード数が数値目標となっている2つのリサーチガイドの改訂版を作成した。 重点取組3-3では、県図書館協会が中心となり、国立国会図書館と県内市町村立図書館との情報交換会を開催した。さらに、ジャパンサーチ上の「埼玉県」ページの活用に関する教員向けの研修動画を作成した。また、同ページに参加する博物館が1館増えた。 重点取組3-4では、新県立図書館の整備の方向性を踏まえ、電子書籍・音声配信サービスの導入時期を見据えながら、プラットフォームや他県の導入状況に関する情報収集を継続的に行った。						進捗状況評価			
						S・・・予定どおりの進捗が見られる			
						A・・・8割程度の進捗が見られる			
						B・・・5割程度の進捗が見られる			
						C・・・取組に着手している			
						D・・・取組に着手していない（要努力）			
						評価			
						A			
令和6年度総括									
上記3-1、3-2、3-4の取組のほか、情報提供ツールの作成（重点取組3-1）では、県庁オープンデーなどの大規模イベントにおける広報や、他の課所館・外部機関が実施するイベントでの積極的な広報により、大幅にアクセス数を増加させることができた。 国立国会図書館レファレンス協同データベースへのデータ提供（重点取組3-2）では、令和6年の年間データ被参照（アクセス）件数が全国1位となり、17年連続で国立国会図書館から御礼状を授与された。これは、量的充実だけでなく、質的な充実も果たしていることを示している。 一方、ジャパンサーチ上の「埼玉県」ページの拡充・展開（重点取組3-3）では、満足度が下落した。また、一般利用者向けの講座開催や広報用チラシの配布が十分でなかった。									
3か年（R4～R6年度）の総括									
重点取組3-2は量・質ともに安定的に取り組むことができた。一方で、重点取組3-1では各ツールの更新を行ったが利活用の促進を図る取組が十分にできなかった。重点取組3-3では、国のデジタルアーカイブのポータル「ジャパンサーチ」との連携を実現したが、普及に関する成果は得られなかった。重点取組3-4では導入目的やプラットフォームの要件などをまとめることはできたが、具体的な導入手続きまでは進まなかった。 目標全体としては、現状の維持・更新はできたが、機能の強化や普及促進には改善の余地がある。次期計画では、今期の成果と課題を踏まえ、より効果的な取組を進めていく必要がある。									

令和6年度 埼玉県立図書館【重点取組評価シート】

基本方針	県民の自発的・主体的な活動を支援するとともに、新たな価値創造に向けた多様な交流機会を提供する						
重点目標4	県民の自発的・主体的な活動支援及び交流機会の創出を通じた県民の価値創造への活動支援の充実						
重点取組	4-1	県民の自発的・主体的な活動の支援					
	4-2	オンラインを活用した事業の推進					
	4-3	集合型事業による交流機会の創出・提供					
	4-4	県民の新たな価値創造に向けた機会創出方策の検討					
評価	R4年度	A	3か年 最終評価	A	達成水準 評価	S・・・目標に達している	
	R5年度	A				A・・・目標の8割以上に達している	
	R6年度	A				B・・・目標の5割以上に達している C・・・目標の5割未満である D・・・成果・進捗がほとんど見られない	
数値目標 達成状況	県民向け主催事業数 (①オンライン活用、②ワークショップ導入)	投入	目標値	①22回②11回	①23回②11回	①24回②12回	
		実績値	①31回②11回	①36回②29回	①38回②30回		
		達成率	①141%②100%	①157%②264%	①158%②250%		
		評価	S	S	S		
		県民向け主催事業参加者数 (①オンライン活用、②ワークショップ導入)	活動	目標値	①②各1,920人	①1,950人②1,920人	①1,980人②1,940人
			実績値	①2,332②1,691人	①4,105人②3,566人	①1,034人②3,679人	
	達成率		①121%②88%	①211%②186%	①52%②190%		
	県民向け主催事業参加者満足度* (①オンライン活用、②ワークショップ導入)	成果	目標値	①②とも4.5以上	①②とも4.5以上	①②とも4.5以上	
		実績値	①4.5②4.8	①4.7②4.6	①4.6②4.6		
		達成率	①100%②106%	①104%②102%	①102%②102%		
	*参加者満足度：5段階評価（参加者対象のアンケートにより算出）			評価	S	S	S
	困難な取組における進捗状況評価		重点取組4-1、4-4		A	A	S
困難な取組における進捗状況（R6年度）							
県民の自発的・主体的な活動の支援（重点取組4-1）の場として、2館合同の「県立図書館ボランティア交流集会」を開催した。この集会では、各種ボランティアの活動報告に基づく意見交換を行い、活動の活性化を図った。また、県民の新たな価値創造に向けた機会創出方策（重点取組4-4）として、交流集会において参加者のグループによる「ヒトハコ本棚」の製作を企画・実施した。「ヒトハコ本棚」とは、特定のテーマで選んだ資料を、箱型のスペースに並べて作る展示のことである。「ヒトハコ本棚」の閲覧室内での展示やブログでの公開を通じて、参加者の「発見・気づき」を発信することができた。					進捗状況評価		
					S・・・予定どおりの進捗が見られる A・・・8割程度の進捗が見られる B・・・5割程度の進捗が見られる C・・・取組に着手している D・・・取組に着手していない（要努力）		
					評価	S	
令和6年度総括							
上記4-1、4-4の取組のほか、オンラインを活用した事業の推進（重点取組4-2）では、音訳者養成講座参加者の復習のための記録動画配信、情報の探しかた講座の後日配信、2つの会場と参加者をつなぐボランティア交流集会など、目的や内容に合わせてオンラインを事業に取り入れた。コロナ禍の収束により、大規模イベントの開催方法を見直したことから、参加人数の目標値は達成には至らなかったものの、事業数・満足度は達成した。集合型事業による交流機会の創出・提供（重点取組4-3）は、女性のための起業入門セミナーや親子ふれあい講座など、参加者同士の対話が生まれるワークショップを取り入れた事業を継続的に実施し、すべての数値目標を達成した。							
3か年（R4～R6年度）の総括							
重点取組4-1では新たに「ボランティア交流集会」をスタートさせ、継続的に開催することができた。重点取組4-2ではオンラインを活用した事業を積極的に開催し、時間と場所にとらわれない参加機会を提供できるようになった。重点取組4-3はワークショップを取り入れた事業を実践し、職員のファシリテーション能力の向上を図りながら参加者同士の交流機会を創出した。重点取組4-4では、交流による価値創造の機会は増えているものの、図書館利用で得た「発見・気づき」を発表する場の設定は、ボランティアからの「ヒトハコ本棚」による発信にとどまった。 全体的には成果が見られた。今後は、県民の自発的・主体的な活動をさらに支援するとともに、県民の価値創造を促進するための取組を強化していく必要がある。							
埼玉県立図書館協議会（サービス評価小委員会）によるコメント							
イベントのハイブリッド開催など、参加者の選択肢が増える形で事業実施を継続できていることは評価できる。他機関等とも連携をして、ヒトハコ本棚のような県民同士のコミュニケーションの充実を図る取組をさらにすすめてほしい。ボランティア活動の成果のフィードバックや見える化ができるとよい。							

令和6年度 埼玉県立図書館【重点取組評価シート】

基本方針	市町村立図書館・学校図書館、関連機関等との連携などを進め、図書館ネットワークの中核としての機能の充実を図る。									
重点目標5	図書館ネットワークの中核機能の充実									
重点取組	5-1	県内市町村立図書館・学校図書館、関係機関等への運営支援と連携の充実								
	5-2	司書等専門職員の人材育成（研修）の強化								
	5-3	先進的な事業の実施・普及								
	5-4	横断検索機能の拡充								
評価	R4年度	S	3か年 最終評価	S	達成水準 評価	S・・・目標に達している A・・・目標の8割以上に達している B・・・目標の5割以上に達している C・・・目標の5割未満である D・・・成果・進捗がほとんど見られない				
	R5年度	S								
	R6年度	S								
数値目標 達成状況	図書館等職員向け研修・講座の 開催回数	投入	目標値	R4年度	R5年度	R6年度				
			実績値	30回	30回	30回				
			達成率	33回	36回	42回				
			評価	110%	120%	140%				
	先進的な事業・業務の相談件数	活動	目標値	S	S	S				
			実績値	430件	430件	430件				
			達成率	986件	921件	1,019件				
			評価	229%	214%	237%				
	県立図書館職員が講師を務めた 研修・講座等の参加者満足度* *参加者満足度：5段階評価（参加者対象のアンケートにより算出）	成果	目標値	S	S	S				
			実績値	4.5以上	4.5以上	4.5以上				
			達成率	4.7	4.8	4.7				
			評価	104%	107%	104%				
困難な取組における進捗状況評価			重点取組5-4			A	S	S		
困難な取組における進捗状況（R6年度）										
横断検索機能の拡充（重点取組5-4）については、検索画面や図書館ウェブサイトの案内などを修正した。また、大学図書館9館からの参加申請手続きを進め、横断検索システムで大学図書館の蔵書を検索できるようになった。 県内所蔵資料の活用を促進するため、横断検索の参加有無にかかわらず、県内大学図書館へ横断検索のバナー・リンク設置を依頼した。これをきっかけに、さらに大学図書館1館が横断検索に参加し、大学図書館の検索対象館は合計10館となった。						進捗状況評価				
						S・・・予定どおりの進捗が見られる A・・・8割程度の進捗が見られる B・・・5割程度の進捗が見られる C・・・取組に着手している D・・・取組に着手していない（要努力）				
						評価 S				
令和6年度総括										
県内市町村立図書館等への運営支援（重点取組5-1）として、情報交換掲示板の設置、市町村立図書館への訪問相談を新たに開始した。訪問相談から個別の職員研修（重点取組5-2）へと発展したのもあった。また、研修資料や動画は図書館協力ウェブサイトで全市町村立図書館へ共有した。そのほか、学校図書館講座や参考調査研修会など各種研修を実施し、図書館関係職員の人材育成に努めた。先進的な事業の実施・普及（重点取組5-3）では、県庁オープンデーなどの外部イベントに出展し、事業の広報を行った。 困難な取組を含め、各取組とも十分に成果をあげることができ、数値目標も大きく超えることができた。										
3か年（R4～R6年度）の総括										
先進的な事業の実施・普及（重点取組5-3）については、ビジネス・ライブラリアン研修や多文化サービススタート講座などを継続して実施し、サービスの普及に努めた。普及の取組が県内市町村立図書館への運営支援（重点取組5-1）へと繋がり、運営支援をきっかけとして職員向け研修実施（重点取組5-2）に結びついた。このことから数値目標は3か年を通してすべて目標値を超え、特に先進的な事業・業務の相談件数は当初の目標を大幅に上回る実績を残すことができた。 横断検索機能の拡充（重点取組5-4）については、連携先を県内大学図書館とし、参加を希望した10館の蔵書が横断検索システムで検索できるようになった。拡充後は減少傾向だった横断検索画面へのアクセス数が微増に転じている。今後は新県立図書館の整備の方向性を見据えた図書館ネットワーク充実のための展開を検討する必要がある。										
埼玉県立図書館協議会（サービス評価小委員会）によるコメント										
研修内容が充実していて満足度が高いことは評価できる。今後、経験の浅い職員のニーズの把握も含めた研修の充実を図ってほしい。大学図書館や公共図書館等の連携が進んでいる点も評価できる。図書館職員間のコミュニケーションにチャットツールを活用するなど、図書館ネットワークのさらなる充実を図ってほしい。										

令和7年度第1回埼玉県立図書館協議会

埼玉県立図書館

利用者アンケートについて

[目次]

01

利用者アンケートの
目的

02

実施期間

03

実施後の対応

04

来館者アンケート

(1)配布数・回答率の推移

(2)レファレンス・資料の満足度

(3)自由記述欄

05

ウェブアンケート

(1)回答数の推移

(2)ウェブサイトの満足度

(3)自由記述欄

06

アンケート実施上の
課題

07

改善策

01 利用者アンケートの目的

効率的で質の高いサービスを目指していくため
利用者視点の図書館サービス評価

満足度や課題の
可視化

利用者ニーズの
把握

利用者アンケートの種類

来館者アンケート

対象：来館者

図書館サービスに対する評価

県立図書館の運営体制の認知度及び満足度

新埼玉県立図書館への期待

ウェブアンケート

対象：非来館利用者、利用経験のない方

県立図書館ウェブサイトに対する評価

来館しないで受けられるサービスの認知度及び満足度

02 実施期間

来館者アンケートは3日間、ウェブアンケートは3か月間、それぞれ年1回実施しています。

種類	令和6年度の実施期間	頻度
来館者アンケート	令和7年2月1日(土曜日)から 2月4日(火曜日)まで 休館日を除く	平成15年度から 毎年度実施
ウェブアンケート	令和6年11月27日(水曜日)から 令和7年2月27日(木曜日)まで	平成25年度から 毎年度実施 平成27年度、平成30年度を除く

「利用者アンケート」調査結果

<https://www.lib.pref.saitama.jp/about/admin/enquete/index.html>

03 利用者アンケート実施後の対応

県立図書館のサービスの利用状況や満足度を把握するとともに、サービスの向上を目的として実施しています。

(例)レファレンスサービス

質問項目	利用したことがある	利用したことがない	未記入
レファレンスサービス	335 (57.9%)	225 (38.9%)	19 (3.3%)

【意見】

レファレンスサービスの使い方が分からない。

【対応】

リーフレット「調査・相談(レファレンス)のご案内」を作成し窓口で配布した。県立図書館ウェブサイトに掲載するとともに、レファレンス申し込みフォームまでのクリック数を減らし、より簡単に申し込めるようにした。(熊谷・久喜)

(例)施設・設備

質問項目	回答項目					満足度
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	
図書館の施設・設備	214 (43.6%)	123 (25.1%)	92 (18.7%)	38 (7.7%)	24 (4.9%)	3.9

【意見】

閲覧席の椅子が古い。

【対応】

劣化していた11脚について座面(椅子の腰を下ろす部分。クッションを含む)の交換を行った。(久喜)

「令和5年度利用者アンケートのご意見にお答えします」より

<https://www.lib.pref.saitama.jp/about/admin/enquete/R5.html>

04 来館者アンケート(1) 配布数・回答率の推移

項目	R2	R3	R4	R5	R6
配布数 (枚)	477	596	674	705	724
回答率 (%)	86.8	84.2	81.8	82.1	86.5

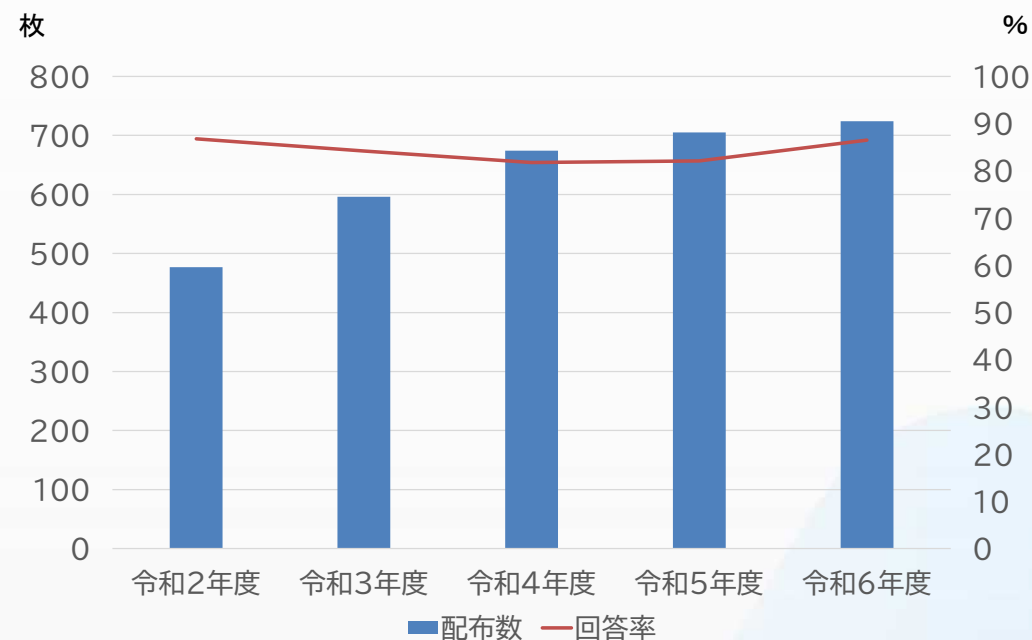
令和2年2月29日から5月31日
2月2日から3月15日
3月16日から4月7日
4月8日から5月18日
5月19日から5月31日

令和2年6月2日から12月23日
令和2年12月24日から令和3年3月21日
令和3年3月23日から令和5年2月28日
令和5年3月1日から5月7日

新型コロナウイルス流行のため臨時休館

来館サービス中止
特設窓口設置
来館サービス中止
特設窓口設置
制限付き開館
臨時休館・特設窓口設置
制限付き開館・短時間利用(3時間以内)
制限付き開館・短時間利用(4時間以内)

令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」へと移行

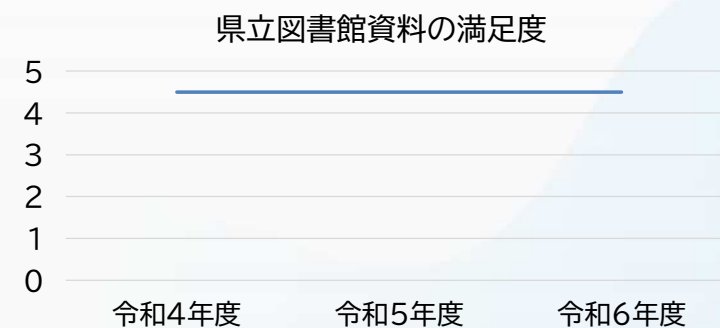
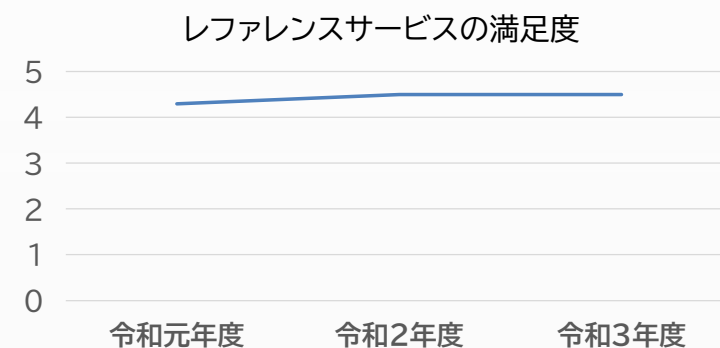


04 来館者アンケート(2)

レファレンス・資料の満足度

年度	設問	満足度
R1	レファレンスサービスの満足度	4.4
R2	レファレンスサービスの満足度	4.5
R3	レファレンスサービスの満足度	4.5

年度	設問	満足度
R4	県立図書館資料の満足度(役に立つ度)	4.5
R5	県立図書館資料の満足度(役に立つ度)	4.5
R6	県立図書館資料の満足度(役に立つ度)	4.5



04 来館者アンケート(3)

自由記述欄

肯定的な意見

- 詳しく聞き取ってくれて、本当に必要な本を見つけてくれた。電話でもできるのが非常に助かる。
- すごいデータベースがあることが誇らしい。
- カウンター付近に行くと、すぐに気づいてくれる。みなさん笑顔で接してくれるのでこちらも優しい気持ちになる。



接遇や資料について、肯定的な意見が見られる

改善を求める意見

- 閲覧スペースがもっと広いといい。外観も含めてハード面の雰囲気をもっと明るくできるとよい。
- 古い、暗い。
- デジタル化をかなり進めてほしい。国会図書館のようなコピーサービスがあるとうれしい。(きれいにそのページが複写されるので)

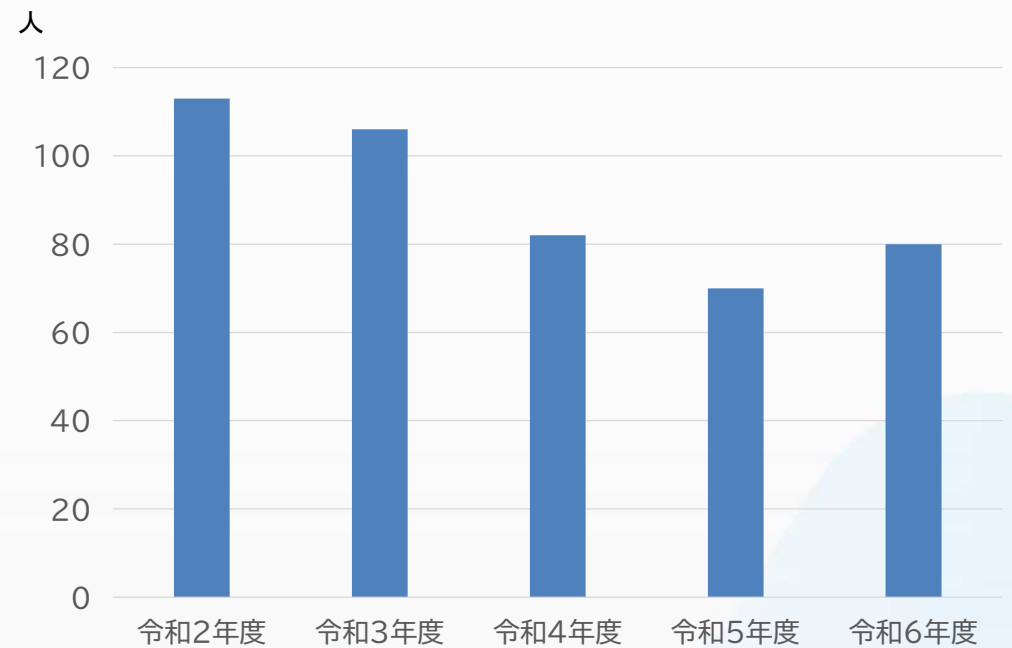


実際に来館して施設設備・サービスを使ったうえでの意見が見られる

05 ウェブアンケート(1) 回答数の推移

ウェブアンケート

項目	R2	R3	R4	R5	R6
回答数 (人)	113	106	82	70	80



05 ウェブアンケート(2)

ウェブサイトの満足度

年度	埼玉県立図書館のウェブサイトの満足度(平均)
R2	3.5
R3	3.4
R4	3.2
R5	3.6
R6	3.7



05 ウェブアンケート(3)

自由記述欄

肯定的な意見

- Xで映画会や展示を知り参加したくなる
- 「マイライブラリ」「横断検索」の配置が分かりやすい
- 館内でスマホで蔵書検索し、書棚に向えるのが便利



情報発信や検索機能について、肯定的な意見が見られる

改善を求める意見

- 禁帯出資料の取寄せ予約がウェブ上でできないのは不便
- ウェブ上でいろいろな機能を提供しているのに説明が不十分
- 開館状況や時間をスマホの上部に表示してほしい
- 検索結果にどの階にあるのか表示してほしい



ウェブサイトの見やすさや掲載の仕方に関する意見、サービスのさらなる改善を求める意見などが見られる

06 アンケート実施上の課題

(1) 来館者アンケートの記入の負担軽減

(2) ウェブアンケート回答者数の増加

07 改善策

〔来館者アンケート・ウェブアンケート共通〕

質問数の最適化

自由記述欄の削減

回答者の負担軽減

館内・SNSでの周知の強化

実施頻度を高める

回答者数の増加

〔ウェブアンケート〕

イベント・資料展等の広報ページにアンケートを設置する

回答者数の増加

適切なターゲット・配布方法・設問

サービスの向上につながる
意見を適宜適切に把握

埼玉県立図書館運営の基本方針（令和4年4月改訂）

埼玉県立図書館は、熊谷図書館と久喜図書館が一体となり、ICTの高度化やSDGsの推進など社会状況の変化に対応した図書館サービスを実現することにより、県民の多様な要求にこたえ、課題への取組や自発的・主体的な活動を支援し、生涯にわたる学びを推進する。

そのために、県民の知識、情報の拠点として、資料・情報を収集・保存し、県民の課題解決の支援の充実を図るとともに、新たな価値の創造に向けた様々な交流の機会を提供する。また、図書館ネットワークの中核として、物流の安定化と情報資源の共有化を図り、県内図書館、他機関等への支援とこれらの機関等との連携を通じた全县サービスを展開していく。

加えて、埼玉県が推進している埼玉版SDGsの精神を尊重するとともに、「埼玉県5か年計画」及び「埼玉県教育振興基本計画」に基づき、教育局と共に新しい県立図書館について検討推進していく。

そこで、埼玉県立図書館は、以下の5つの事項に取り組む。

- 専門的な資料・情報や地域資料等を収集・保存する。
- ICTの高度化に対応した図書館サービスを推進する。
- 県民の課題解決を支援するため、調査相談など資料・情報の提供の充実を図る。
- 県民の自発的・主体的な活動を支援するとともに、新たな価値創造に向けた多様な交流機会を提供する。
- 市町村立図書館・学校図書館、関連機関等との連携などを進め、図書館ネットワークの中核としての機能の充実を図る。

令和4年度～令和6年度 埼玉県立図書館運営の重点目標及び重点取組

重点目標		重点取組
目標1	専門的な資料・情報や地域資料等の収集・保存の充実	重点取組1-1 多様な媒体の資料・情報の収集・保存 重点取組1-2 資料保存環境の改善 重点取組1-3 地域資料等のデジタル化の推進
目標2	ICTを活用した図書館サービス提供の推進	重点取組2-1 「デジタル地域資料アーカイブ」の検討 重点取組2-2 カウンターワークのデジタル化の推進 重点取組2-3 ICTによる非来館型レファレンスの充実 重点取組2-4 複写物の電子送信サービスの実施
目標3	資料・情報提供機能の強化・推進	重点取組3-1 情報提供ツールの作成 重点取組3-2 レファレンス協同データベースへのデータ提供 重点取組3-3 「埼玉サーチ」の拡充・展開 重点取組3-4 電子書籍導入方法の検討
目標4	県民の自発的・主体的な活動支援及び交流機会の創出を通じた県民の価値創造への活動支援の充実	重点取組4-1 県民の自発的・主体的な活動の支援 重点取組4-2 オンラインを活用した事業の推進 重点取組4-3 集合型事業による交流機会の創出・提供 重点取組4-4 県民の新たな価値創造に向けた機会創出方策の検討
目標5	図書館ネットワークの中核機能の充実	重点取組5-1 県内市町村立図書館・学校図書館、関係機関等への運営支援と連携の充実 重点取組5-2 司書等専門職員の人材育成(研修)の強化 重点取組5-3 先進的な事業の実施・普及 重点取組5-4 横断検索機能の拡充

※「重点目標」「重点取組」の詳細、「重点取組の達成状況(評価)」については埼玉県立図書館ウェブサイトで公開しています。

令和4年度～6年度 埼玉県立図書館 運営の重点目標・重点取組・評価指標

基本方針	専門的な資料・情報や地域資料等を収集・保存する。
重点目標1	専門的な資料・情報や地域資料等の収集・保存の充実

重点取組	
1－1 多様な媒体の資料・情報の収集・保存	
(1) 多様な媒体*や多種多様な内容**の資料・情報を収集・保存する *多様な媒体：図書、視聴覚資料、オンライン資料、新聞・雑誌資料、点字・デージー資料等 **多種多様な内容：地域資料、課題解決・学校支援に役立つ資料、多言語資料、児童資料等 (2) 地域経済活動の活性化に貢献し、県民の健康で安心な暮らしを支援するため、ビジネス支援サービス、健康・医療情報サービスの基盤となる資料・情報を整備する	
1－2 資料保存環境の改善	
(1) 県民の財産である資料を永く保存するため、収蔵環境を改善し、資料への負担を軽減する対策を講じる	
1－3 地域資料等のデジタル化の推進	
(1) 資料を劣化から守りかつ利用を促進するため、「第二期埼玉県立図書館資料デジタル化年次計画」(R4～R6)*に基づきデジタル化を推進する *「第二期埼玉県立図書館資料デジタル化年次計画」(R4～R6) 令和4年3月16日策定	

■数値目標

指標項目		令和4	令和5	令和6
投入指標	多様な資料の新規収蔵冊数 (図書、視聴覚、雑誌、オンライン)	31,630 点	31,630 点	31,630 点
活動指標	デジタルライブラリーの アクセス件数	13,000 件	43,000 件	46,000 件
成果指標	県立図書館資料の満足度 (役に立つ度)*	4.2 以上	4.2 以上	4.2 以上

*県立図書館資料の満足度(役に立つ度)：利用者アンケートにより算出

※当初の指標策定時、デジタルライブラリートップページ等のアクセス件数を指標として計上していたが、令和5年度から、より実態に即した数値であるデジタルライブラリー資料詳細ページのアクセス件数を正確に算出することが可能となったことから、指標の計上方法と令和5年度以降の目標値を修正した(令和5年度 14,000 件→43,000 件、令和6年度 15,000 件→46,000 件)

基本方針	ICT の高度化に対応した図書館サービスを推進する。
重点目標 2	ICT を活用した図書館サービス提供の推進

重点取組	
2－1 「デジタル地域資料アーカイブ」の検討	
(1) 情報資源の散逸を防ぎ、誰もが情報へアクセスしやすい環境を整備するため、デジタル資料の収集・閲覧・利用システム「デジタル地域資料アーカイブ」の構築に向けた検討を行う	
2－2 カウンターワークのデジタル化の推進	
(1) スマートフォン等の普及に伴う情報アクセス手段の多様化に合わせて、カウンターワークのデジタル化を検討し推進する	
2－3 ICT による非来館型レファレンスの充実	
(1) 図書館ウェブサイト等を通して情報にアクセスできる非来館型レファレンスサービスを推進する	
2－4 複写物の電子送信サービスの実施	
(1) 著作権法の改正に伴う複写物の電子送信サービスについて、国のガイドライン等の検討状況に合わせ必要な準備作業を行い、新たなサービスの円滑な提供を目指す	

■数値目標

評価指標		令和 4	令和 5	令和 6
投入指標	カウンターワークのデジタル化取組件数	3 件	4 件	5 件
活動指標	ICT による非来館型レファレンス受付件数	290 件	300 件	310 件
成果指標	ICT による非来館型レファレンスサービス利用のしやすさ満足度*	4.5 以上	4.5 以上	4.5 以上

*ICT による非来館型レファレンスサービス利用のしやすさ満足度：利用者アンケートにより算出

基本方針	県民の課題解決を支援するため、調査相談など 資料・情報の提供の充実を図る。
重点目標 3	資料・情報提供機能の強化・推進

重点取組	
3－1 情報提供ツールの作成	
(1) パスファインダー*やウェブサイトの関連リンク集など、誰にでも分かりやすい情報提供ツールを作成・更新・公開し、効果的な活用を図る *パスファインダー:あるテーマについて調べる時に役立つ基本資料や調べ方を紹介する道しるべとなる資料	
3－2 レファレンス協同データベースへのデータ提供	
(1) 国立国会図書館レファレンス協同データベース*に質の高いレファレンス事例や調べ方案内を入力・公開し、図書館をはじめ情報を必要とするすべての機関や個人へ情報提供を行う *国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築する調べ物のための検索サービス	
3－3 「埼玉サーチ」の拡充・展開	
(1) 県立図書館や県立博物館等の所蔵資料を広く国内外に発信するため、「埼玉サーチ」*を拡充するとともに「ジャパンサーチ」**への連携に向けた検討を行う *県立図書館のデジタル化資料や県内博物館資料、美術館の所蔵作品などを横断的に検索できるサービス **国立国会図書館が運営する様々な分野のコンテンツのメタデータを検索・閲覧・活用できるプラットフォーム	
3－4 電子書籍導入方法の検討	
(1) 電子書籍サービスを調査・検討し、県立図書館としての役割を担うための導入方法について検討を進める	

■数値目標

評価指標		令和 4	令和 5	令和 6
投入指標	レファレンス協同データベース事例公開件数	210 件	210 件	210 件
活動指標	情報提供ツールの活用件数	430 件	430 件	430 件
成果指標	「埼玉サーチ」満足度*	4.0 以上	4.0 以上	4.0 以上

*「埼玉サーチ」満足度：利用者アンケートにより算出

基本方針	県民の自発的・主体的な活動を支援するとともに、新たな価値創造に向けた多様な交流機会を提供する。
重点目標 4	県民の自発的・主体的な活動支援及び交流機会の創出を通じた県民の価値創造への活動支援の充実

重点取組	
4－1 県民の自発的・主体的な活動の支援	
(1) ボランティア集会・講座等を開催し、生涯を通じた学習機会の提供拡大を図るとともに、県民の自発的・主体的な活動を支援する	
4－2 オンラインを活用した事業の推進	
(1) オンライン事業を積極的に開催するとともに、実施方法について研究し共有化を図る	
4－3 集合型事業による交流機会の創出・提供	
(1) 研修会・講座等を積極的に開催し、県民の交流機会を創出・提供する	
4－4 県民の新たな価値創造に向けた機会創出方策の検討	
(1) 県民が図書館利用で得た「発見・気付き」を発表する場（ウェブサイトや館内掲示板等）を提供する	
(2) 県民の新たな価値創造に向けた機会創出方策について検討を行う	

■数値目標 * オンライン活用、ワークショップ導入事業のみカウント

評価指標		オンライン活用			ワークショップ等導入		
		令和 4	令和 5	令和 6	令和 4	令和 5	令和 6
投入指標	県民向け主催事業数	22 回	23 回	24 回	11 回	11 回	12 回
活動指標	県民向け主催事業参加者数	1,920 人	1,950 人	1,980 人	1,920 人	1,920 人	1,940 人
成果指標	県民向け主催事業参加者満足度*	4.5 以上	4.5 以上	4.5 以上	4.5 以上	4.5 以上	4.5 以上

* 県民向け主催事業参加者満足度：参加者対象のアンケートにより算出

基本方針	市町村立図書館・学校図書館、関連機関等との連携などを進め、図書館ネットワークの中核としての機能の充実を図る
重点目標 5	図書館ネットワークの中核機能の充実

重点取組	
5－1 県内市町村立図書館・学校図書館、関係機関等への運営支援と連携の充実	
(1) 県内市町村立図書館等と連携・協力し、職員向け研修事業の効果的なプログラムを検討し実施する (2) 学校図書館を支援し、多様なニーズに対応する	
5－2 司書等専門職員の人材育成（研修）の強化	
(1) 県内図書館等職員のスキルアップを図るため、有用な研修に県立図書館職員の参加を促し、高度で専門的な人材を育成する	
5－3 先進的な事業の実施・普及	
(1) 先進的な事業・業務を実施し、県内市町村立図書館等への普及を図る	
5－4 横断検索機能の拡充	
(1) 県内の各種機関等と館種を越えた連携を通して「埼玉県内公立図書館等横断検索」の参加館を増やし、県内所蔵資料の活用を促進する	

■数値目標

評価指標		令和 4	令和 5	令和 6
投入指標	図書館等職員向け研修・講座の開催回数	30 回	30 回	30 回
活動指標	先進的な事業・業務の相談件数	430 件	430 件	430 件
成果指標	県立図書館職員が講師を務めた研修・講座等の参加者満足度*	4.5 以上	4.5 以上	4.5 以上

*参加者満足度：参加者対象のアンケートにより算出